



Washington Seminar

2025 Summer Program

大学院生・修了生・弁護士向けの夏の短期海外プログラム

プログラム期間 2025/8/9(土)～8/27(水)

参加申込期間 2025/4/8(火)～5/23(金)

※日程に変更が生じる場合があります。予めご了承ください。



合衆国最高裁判所

立命館大学法科大学院 × American University Washington College of Law



連邦議事堂

憲法概論

アメリカ合衆国憲法を基礎づける立法、行政（大統領制）、司法の権力分立制度、連邦制度、人権保障のために連邦最高裁判所が果たしてきた役割、さらにはトランプ政権によって保守化傾向を強める連邦最高裁判所の現在について学びます。

行政法

大統領の下に置かれる各行政機関の行政活動はどのようなルールの下で行われ、そのチェックや規制はどのように行われているかを学びます。

民法

米国における財産法、契約法、不法行為性の基礎を学びます。アメリカ法における所有権の概念や物権変動に関して身近な例を用いて説明されます。契約当事者の権利義務、所有権侵害による不法行為などについても学びます。

環境法

判例の検討などを通じて、連邦環境保護庁（EPA）を中心に行われるアメリカの環境行政について学びます。講師は環境保護活動家としても著名な教授が務め、具体的な内容から関心を高めながら学びます。

その他講義

上記の講義の他、国際人権法や民事訴訟法、刑事訴訟法、ビジネスロー、知的財産権法、消費者保護法など多岐に渡る講義が組まれています。WCLの魅力ある教授陣がこのセミナーのためにアレンジされた講義を行い、どの講義も大変興味深いものになっています。

充実の講義・魅力のある訪問先例

※状況により、訪問先に変更が生じる可能性があります。予めご了承ください。

司法機関

ワシントン D.C. には複数の司法機関が点在しています。中でもワシントン D.C. の最も重要で象徴的なランドマークの一つとされている連邦最高裁判所は必見です。

また、地方裁判所を訪問します。裁判傍聴を行い、陪審制度の説明を聞き、さらに現役の裁判官からお話を聞くことができます。

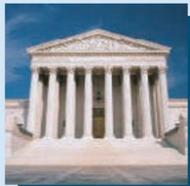
連邦議会議事堂・議会図書館

議事堂を訪問してアメリカン・デモクラシーの歴史を体感します。一般観光では入れないエリアも参観できます。議員会館にある下院議員の事務所、立法活動について話を聞く機会もあります。

世界最大級の蔵書数を誇る議会図書館では、日本の法曹資格を持つスタッフに案内してもらいます。

公設弁護人事務所

公設弁護人事務所（パブリック・ディフェンダー・オフィス）は、刑事事件における国選弁護を専門に扱う公的な機関です。弁護費用を支払うことが困難な被疑者・被告人の適正手続を保障するために、専門性の高いサービスを提供している弁護士から、刑事弁護の内容とスピリットについて熱いお話を聞くことのできる貴重な機会です。



主な訪問先



国際 NGO

アメリカでは NGO は若手弁護士の就職先として一般的です。北はアラスカから南はニューメキシコまで幅広く活動している。野生生物保護団体を訪問し、ロビイング活動や違法取引禁止訴訟の話などを聞くことができます。

大手法律事務所

数百人、あるいは 1000 人単位で世界中に事務所を有するような大規模な法律事務所を訪問します。誰もが聞いたことのある大企業のためにどのような活動をしているか日本人パートナー弁護士（元外交官）や日本人パラリーガルから直接聞くことのできる貴重な機会です。

行政機関

連邦運輸省などを訪問します。運輸省では、アメリカ全土を網羅する鉄道・道路の管理や州をまたぐタイムゾーンの調整をする話、近年の AI による自動運転の規制に関する話など、行政機関によるルールメイキングについて豊富な具体例を学ぶことができます。



議会図書館

< 大学院生 >

全行程 出発 8月9日(土)~帰国 8月27日(水)

< 修了生・弁護士 > 1週間もしくは2週間のプログラムスケジュール

弁護士・修了生は、ご都合に合わせたフレキシブルなスケジュールでご参加いただけます。

- A 全日程 (2週間プログラム) 8月11日(月)~帰国 8月22日(金)
- B 前半のみ (1週間プログラム) 8月11日(月)~帰国 8月15日(金)
- C 後半のみ (1週間プログラム) 8月18日(月)~帰国 8月22日(金)

- 航空機の運航状況により上記日程に変更が生じる可能性があります。日程の確定は6月頃を予定しています。
- 修了生・弁護士の参加期間はご相談に応じます。
- 参加者には大阪・東京発ワシントンD.C. ダレス空港着の直行便を手配予定です。修了生・弁護士は、現地合流やご自身による航空券の手配へのご要望も賜ります。(但し、宿泊施設は、本学で手配させていただきます。)
- 参加日程によっては、アメリカン大学ロースクールの正規授業の見学が可能です。
- 期間中の土日を利用して、ニューヨークを含むワシントンD.C. 近郊地での観光をお楽しみいただけます。(ワシントンD.C. からニューヨークへはバスで4~5時間、電車で3時間程です。)
- セミナー修了後には、アメリカン大学ロースクールからプログラム修了証(certificate)が手渡されます。

-English Level-

現地での授業は全て英語で行われます。したがって講義を理解し、発言する最低限の語学力は必要です。ただし、本プログラム参加者のみ対象とした講義になるため、話すスピードや使用する語彙も十分考慮されます。参加にあたって、語学スコア等の提出は不要です。

-Stay-

プログラム派遣期間中は、本学が手配するホテルに滞在します。通学および生活に便利だけでなく、安全面も十分に考慮したホテルを選定しています。

-Safty-

米国の首都であるワシントン DC は政府要人や観光客も多く、治安が極めて良い都市のひとつです。人目が少ないエリアは治安が悪いところもありますが、夜間の一人歩きを避けるなど、注意を払うことで安全を保つことができます。

ワシントン記念塔

スケジュール・参加者の体験記

◇ 弁護士 ◇

弁護士が、ワシントンセミナーに参加する際の懸念は、①語学能力・②費用・③2週間休みを取る、ことだと思います。
 ①語学能力については、今はAI等翻訳ツールが豊富です。同時通訳システムをPCやスマホに導入すればいいことです。私たちは、法律を学びに行くのですから、語学はあくまでツールです。ツールのために時間を費やさず、賢く翻訳ソフトを使ってください。
 ②費用については、円安・円高を私たちがコントロールできません。いつ円高になるかはわからないのですから、休暇を取れるときこそベストタイミングと思われて、参加してはいかがでしょうか。
 ③休暇については、コロナのおかげでオンラインツールが一般的になりました。ワシントンの夕刻は、日本の午前中ですので、オンラインツールを使って、日本時間の午前中に、事務局に指示を出したり、依頼者とオンライン打合せをしたり、昼のZOOM会議に参加したりもできます。共同事務所であれば、その期間は復代理の委任状で頭が必要な期日は対応可能です。他国の法律や制度を知り、他国の日常生活に触れることは、自国の良さを改めて感じるができる経験です。ワシントンDCの夏は日本に比べ、さわやかに過ごしやすいです。また、ワシントンDCはコンパクトで、かつ博物館・美術館がたくさんあり(しかも無料がほとんど)観光地としても楽しめます。海外SIMを導入すれば、連絡等は日本にいるときと変わりません。私はとても楽しい有意義な時間を過ごしました。是非、参加をご検討ください。(2024年度参加 分部りか弁護士)

◇ 弁護士 ◇

私は、学部生の頃からアメリカ留学に行きたいという強い思いがあったので、この度ワシントンセミナーに参加させていただきました。これまで留学経験がなく、英語にも自信がなかったため、渡米する前は授業についていけるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、WCLの先生方は聞き取りやすいようにゆっくり話してくださったり、私たちが納得するまで質問を受けてくださったり、様々なご配慮をしてくださりました。また、引率の先生、弁護士の先生、友人に助けをもらい、楽しくアメリカ法を学ぶことができました。
 ワシントンセミナーでは、連邦議会議事堂や大手法律事務所など、普通なら入ることのできない施設を訪問することができます。どの施設訪問においても貴重な体験をすることができ、一生忘れることのできない財産となりました。また、メジャーリーグの観戦もすることができました。私は小中高と野球をやっていたので、本場のメジャーリーグの雰囲気味わえて最高でした。残念ながら、今回のスケジュールでは日本人選手の在籍チームの試合は観戦できなかったのですが、今年度のスケジュール次第では、あの大谷選手の試合を見ることができるとも思いません。
 そして授業時間外では、ワシントンの街をたくさん散策することができました。ワシントンは多くの博物館に無料で入ることができたので、法律以外の教養も深めることができました。また、友人と授業終わりにディナーに行ったり、買い物をしたりと、楽しい時間を過ごすことができました。
 本当に私はワシントンセミナーに参加してよかったです。多くの皆様が本セミナーに参加していただくことを願っています。
 (2024年度参加 前原正義)

◇ 弁護士 ◇

ワシントンセミナーは、現地のロースクールで授業を受けたり、様々な施設を訪問したりと、個人旅行ではできない経験ができる点に魅力を感じました。私は修了生として参加しました。ロースクール2年間を通してある程度日本の法律について理解したうえで、アメリカの法律を学んだことで、日本との違いを感じる事ができ、大変興味深かったです。英語には不安がありましたが、一緒に参加した学生や弁護士の先生に助けをいただきながら、授業を受けることができました。特に、法律事務所を訪問し、現地で活躍する日本人弁護士とお話する機会をいただけたことは大変貴重な経験でした。ワシントンセミナーは、座学ばかりではなく、施設訪問や大リーグ観戦、NYでの観光など、楽しいプログラムが充実しています。無料のミュージアムにたくさん行ったり、スーパーでアメリカンサイズのピザを買ったりなど、自由時間も含め非常に楽しい2週間で、日本に帰りたくないほどでした。司法試験の結果発表前に参加を決めなければいけない点で不安はありましたが、参加後はモチベーションが高まったため、思い切って参加して本当に良かったと思います。学生の間は授業が忙しく、弁護士になってからは仕事が忙しくなると思ったため、修了生でも参加できるのは大変ありがたかったです。ワシントンセミナーで学んだこと、感じたことを大切にしながら今後の修習や仕事を頑張っていきたいと思っています。(2024年度参加)

参加者の声

これまでの参加実績

参加者数

初回開催 2005 年から統計 100 名を超える方々の参加実績があります。
2015 年度より学生のみならず弁護士の皆さまにもご参加いただいています。

セミナー修了後の参加者のキャリア実績

- ✓ 官公庁国際部門への出向
(2022 年度参加弁護士)
- ✓ 海外の法律事務所への派遣
- ✓ 海外 LLM への進学

本セミナーへの参加が契機と
なりました!

過年度参加者数				
年度	大学院生	弁護士	修了生	年度別合計
2018	7	4	1	12
2019	11	4		15
2020			不開催	
2021			不開催	
2022	3	2		5
2023	2	2		4
2024	5	2	1	8



申込方法・参加費・キャンセル

受講方法

受講方法は、募集要項をご参照ください。本科目は、「外国法務演習 I」（2 単位）と「外国法務演習 II」（翌年の春semester開講・2単位）とに分かれており、I から II の順に受講します。I は秋学期配当の科目ですが、8 月に現地でのセミナーに参加し、なおかつ春学期に事前事後の授業やガイダンスへの参加が必要です。また、秋学期に最終レポートを提出します。次年度の春学期に推奨されている II では、実際にアメリカで学んだ内容を各自でさらに理解を深めます。また、I の受講生には、アメリカ法の概要の把握と英語慣れのため、アメリカン大学ロースクールの客員教員が担当する「英米法基礎」の受講を強く推奨しています。

参加費

受講生は右記の通り、大学院生対象の奨学金支給後の金額を納入期日（例年 6 月末頃）までに 100 円未満を切り上げた日本円にてお振込みいただけます。最終金額は、参加人数などにより変動しますので、6 月初旬頃に確定金額をお知らせします。（右記の参加費の他に、海外旅行保険の加入（義務）が必要です）※パスポートを予め取得することを推奨いたします。

参加費概算（参加例）	
航空運賃・空港税	\$2,625
宿泊費	\$1,309
プログラム費	\$1,880
奨学金差引後合計額	約69万円

(US\$=¥144.99 換算)

大学院生

申込方法

参加ご希望の方は、4 月 8 日以降、大学院 HP (<https://www.ritsumei.ac.jp/lawschool/>) または右記 QR コードの読み取りから Web 申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。お申込みを確認次第、メールにてご連絡させていただきます。



参加費

2 週間の参加または、1 週間の参加をお選びいただき、右記の参加費合計金額の 100 円未満を切り上げた金額を納入期日（例年 6 月末頃）までに日本円にてお振込みいただけます。最終金額は、6 月初旬に確定次第お知らせします。（右記の参加費の他に、海外旅行保険の加入（任意）が必要です）※パスポートを予め取得することを推奨いたします。

参加費概算（参加例）	
航空運賃・空港税	\$2,625
宿泊費	\$1,309
プログラム費	\$1,330
奨学金差引後合計額	約76万円

(全日程)

参加費概算（参加例）	
航空運賃・空港税	\$2,625
宿泊費	\$770
プログラム費	\$1,160
奨学金差引後合計額	約66万円

(1週間)

(US\$=¥144.99 換算)

キャンセルポリシー

参加者個人の都合により生じた各キャンセル料は、以下のキャンセルポリシーに従って参加者ご本人にご負担いただけます。

- 航空券: 約 45 日前に発券してから出発日までの取消し手数料(またはペナルティ)が発生します。キャンセルポリシーは事前の予告なく変更される場合があります。
- 宿泊費: 宿泊ホテルが設定する取消料に準じます。
- プログラム費: 右記の通り、キャンセルを申し出された日からキャンセル料が発生する場合があります。

プログラムキャンセル（取消日）	取消料
出発日の前日から起算してさかのぼって24日目にあたる日以前に取り消した場合	無料
出発日の前日から起算してさかのぼって23日目にあたる日以前に取り消した場合	プログラム費の50%
出発当日に取消し、または連絡なしノーショーの場合	プログラム費の100%

<お問合せ>

立命館大学大学院
法務研究科（法科大学院）
朱雀独立研究科事務室

〒604-8520
京都市中京区西ノ京朱雀町 1 番地
Phone : 075-813-8270
Email : rits-ls@st.ritsumei.ac.jp
http : www.ritsumei.ac.jp/lawschool/

AMERICAN UNIVERSITY
WASHINGTON
COLLEGE OF LAW

TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN

